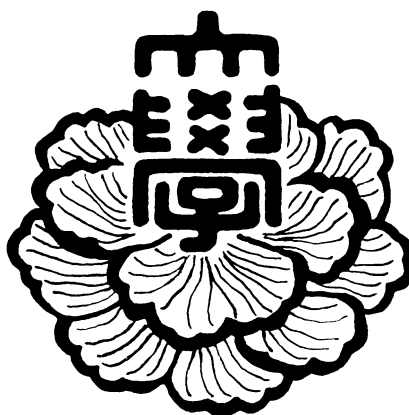


令和 9 (2027) 年度

弘前大学工学部

第 3 年次編入学学生募集要項

(推薦選抜・一般選抜)



■推薦選抜・一般選抜編入学試験日程表

募集人員	事項	日 時
推薦選抜及び 一般選抜合計 10名	出 願 期 間	令和 8 年 6 月 29 日(月)～ 7 月 3 日(金)
	編入学試験実施日時	令和 8 年 8 月 21 日(金) 10 時～
	合 格 者 発 表	令和 8 年 9 月 3 日(木) 10 時(予定)
	入 学 手 続 期 間	令和 8 年 9 月 28 日(月)～ 10 月 2 日(金)

弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

目 次

令和9年度 理工学部第3年次編入学学生募集要項

■ 弘前大学における三つの方針（ポリシー）

I. 編入学者選抜方法の区分	1
II. 募 集 人 員	1
III. 編入学の時期及び編入学年次	1
IV. 出 願 資 格	1
V. 出 願 期 間	3
VI. 出願書類等の提出先	3
VII. 出 願 書 類 等	3
VIII. 選考方法等	4
IX. 試験実施日時及び会場	5
X. 合格者の発表	5
XI. 入 学 手 続	5
1. 入学手続の方法	5
2. 入学手続の際に提出・納付するもの	5
XII. 入 学 者 案 内	6
1. 高等教育の修学支援新制度について	6
2. 日本学生支援機構奨学金（貸与）※卒業後に返還が必要	6
3. 学生教育研究災害傷害保険（学研災）と学研災付帯賠償責任保険（学研賠）	6
4. 学生寮入寮希望調書等の請求方法及び受付期間	6
XIII. その他の注意事項	7
XIV. 個人情報の取扱いについて	7
XV. 入学後の単位認定	8
1. 読み替え単位認定	8
2. 単位認定等の基本的な考え方	8
3. 修業年限及び在学年限	8
4. 規定の適用	8
5. 評価基準	8
XVI. 理工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	9

弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していかうとする行動力
- 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していかうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには、入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の2つが含まれています。その理由は、大学教育を効果的に実践し、学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには、学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て、花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは、「学力の3要素」です。学力の3要素は、初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は、①基礎的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、となっています。

また、卒業時に学生が身に付けるべき力とは、弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本学ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には、弘前大学の教育目的が内包されているため、「学力」「行動力」「意欲」は「学力の3要素」と完全一致してはおりません。ただし、教育理念の点で、両者は一致しています。よって、弘前大学の入学者選抜では、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は、学部や学科、あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針、入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究をとおして、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

(1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

(2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践をとおして培います。

(3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

- － 学際的な教養と高度な専門性を身に付け、学術的観点から自然や社会を見通す力
- － 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- － 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページでご覧いただけます。 <https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/policy.html>

令和9年度 理工学部第3年次編入学学生募集要項

I. 編入学者選抜方法の区分

令和9年度弘前大学理工学部の第3年次編入学者の選抜は、「推薦選抜」及び「一般選抜」の方法で行います。

「推薦選抜」は、学業成績が一定の基準を満たしている者を対象に、出身学校長の推薦に基づき選抜を行います。

「一般選抜」は、出願資格として特に学業成績の条件は課さず、また、推薦書も不要としますが、面接試験の結果をより重視して選抜を行います。

II. 募集人員

学 科	募 集 人 員
数 物 科 学 科	2 人
物 質 創 成 化 学 科	1 人
地 球 環 境 防 災 学 科	2 人
電 子 情 報 工 学 科	2 人
機 械 科 学 科	2 人
自 然 エ ネ ル ギ ー 学 科	1 人

III. 編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は、令和9年4月とし、第3年次に編入するものとする。

IV. 出 願 資 格

〔推薦選抜・一般選抜共通〕

原則として、当該学科の第3年次からの教育研究内容に関連する分野に対応できる者とする。

なお、推薦選抜と一般選抜の両方に出願することはできない。

〔推薦選抜〕

出願できる者は、次の者とする。

高等専門学校を令和9年3月卒業見込みの者で、かつ、学業成績が優秀で、出身学校長が責任を持って推薦でき、合格した場合には入学を確約できる者。

なお、学業成績に関する推薦基準の目安は、出身学校における第4学年の成績順位が学科（コース）現員の上位50%以内（小数点以下切り上げ）の者とする。

また、学校長が本学部に推薦できる人数は最大3名までとする。

〔一般選抜〕

出願できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- ①高等専門学校又は短期大学（部）を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- ②専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であること）を修了、又は令和9年3月修了見込みの者。ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。
- ③大学を卒業した者、又は一つの大学に2年以上在学（休学期間を除く）した者で67単位以上を修得した者、若しくは令和9年3月までに2年以上在学となる見込みの者で、67単位以上を修得見込みの者
- ④高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者又は令和9年3月に修了見込みの者
- ⑤①～④までに該当しない者で、本学の出願資格審査により①～④までに定める者と同等以上の学力があると認められた者

※①～④までに該当せず、本学の出願資格審査を申請する者は、事前に入試課に問合せのうえ、令和8年5月29日（金）までに申請書類を提出してください。なお、追加で書類の提出を求める場合がありますので、時間に余裕を持って問合せしてください。

弘前大学学務部入試課

電話：0172-39-3122

メール：nyushi@hirosaki-u.ac.jp

V. 出願期間

令和8年6月29日(月)から令和8年7月3日(金)までとする。
持参の場合は、平日9時から17時までとする。
郵送・持参とも、令和8年7月3日(金)17時までに必着のこと。

VI. 出願書類等の提出先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部入試課 電話 0172-39-3122

障がい等のある入学志願者との事前相談について

病気・負傷や障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮や措置を必要とする方は、令和8年6月15日(月)までに、あらかじめ入試課へ申し出てください。

弘前大学学務部入試課

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 電話 0172-39-3122

VII. 出願書類等

出願しようとする者は、本学所定の様式を入試情報ホームページからダウンロードし、データ入力又は黒ボールペン(ただし、インクを消せるものは不可)を使用し、丁寧に記入してください。

※編入学入試募集要項及び所定様式ダウンロード先

(<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/transfer/requirements/>)

※出願書類の提出に当たっては、本学入試情報ホームページから「出願書類提出用宛名」をカラー印刷し、角形2号封筒に貼り付けのうえ、郵送してください。その際「出願書類チェックシート」にて、封入書類を確認してから送付してください。

〔推薦選抜〕

	出 願 書 類	内 容	所定用紙No.
1	志願票	本学所定の様式に必要な事項をデータ入力又は記入すること。	No. 1 A4・片面印刷
2	写真票・受験票	本学所定の様式に必要な事項をデータ入力又は記入すること。 (写真データを使用する場合は、カラー印刷すること。)	No. 2 A4・片面印刷
3	「振替払込請求書兼受領証」貼付台紙	入学検定料 30,000 円を郵便局・ゆうちょ銀行に備え付けの「払込取扱票」を用いて払い込むこと。 (本学入試情報ホームページの記入例を参考にすること。) 払込済の「振替払込請求書兼受領証」を貼付したものを提出すること。	
4	調査書	本学所定の様式により、出身学校長が作成し、 厳封 したもの。	No. 3 A4・片面印刷
5	推薦書	本学所定の様式により、出身学校長が作成し、 厳封 したもの。	No. 4 A4・片面印刷
6	志望理由書	本学所定の様式に必要な事項をデータ入力すること。 (自署は認めない。)	No. 5 A4・片面印刷
7	受験票送付用封筒	長形3号の封筒に、自分の住所・氏名等を明記し、郵便切手410円分(速達分)を貼付したもの。	
8	あて名票	本学所定の様式に出願者等の住所・氏名をデータ入力又は記入すること。	No. 6 A4・片面印刷

〔一般選抜〕

	出 願 書 類	内 容	所定用紙No.
1	志願票	本学所定の様式に必要な事項をデータ入力又は記入すること。	No. 1 A4・片面印刷
2	写真票・受験票	本学所定の様式に必要な事項をデータ入力又は記入すること。 (写真データを使用する場合は、カラー印刷すること。)	No. 2 A4・片面印刷
3	「振替払込請求書 兼受領書」貼付台紙	入学検定料 30,000 円を郵便局・ゆうちょ銀行に備え付けの「払込取扱票」を用いて払い込むこと。 (本学入試情報ホームページの記入例を参考にすること。) 払込済の「振替払込請求書件受領証」を貼付したものを提出すること。	
4	卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	出身学校所定のもの。 大学出身者(短期大学を除く)で2年次に在学中の者は在学証明書を、中途退学した者は退学証明書を提出すること。 専修学校の出身者は修了又は修了見込みの専修学校が、修業年限2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上であること及び当該専修学校を修了又は修了見込みであることの証明書を提出すること。 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の出身者は、当該学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、文部科学省告示第63号又は第64号の基準を満たす課程を修了又は修了見込みであることの証明書を提出すること。	
5	調査書	高等専門学校の出身者は本学所定の様式により、出身学校長が作成し、 厳封 したもの。 大学、短期大学(部)、専修学校及び高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の出身者は成績証明書(修得単位数が明記されたもの。 厳封)を提出すること。 出願資格③該当者のうち、大学に2年以上在学(見込み)し出願時に67単位を未修得の者は、上記成績証明書のほか、令和9年3月までに修得見込みであることを証明する書類(修得予定の科目名及び単位数が記載されたもの。様式任意。)を提出すること。	No. 3 A4・片面印刷
6	志望理由書	本学所定の様式に必要な事項をデータ入力すること。 (自署は認めない。)	No. 5 A4・片面印刷
7	受験票送付用封筒	長形3号の封筒に、自分の住所・氏名等を明記し、郵便切手410円分(速達分)を貼付したもの。	
8	あて名票	本学所定の様式に出願者の住所・氏名をデータ入力又は記入すること。	No. 6 A4・片面印刷

VIII. 選考方法等

〔推薦選抜〕

合格者の選考は、面接、志望理由書、推薦書及び調査書の結果を総合して判定する。

- (1) 面接 (基礎学力に関する試問を含まない)
- (2) 配点 面接、志望理由書及び推薦書300点、調査書200点の合計500点とする。
- (3) 面接は複数の教員で受験者1人ずつ行う。面接時間は15分～20分程度。

〔一般選抜〕

合格者の選考は、面接、志望理由書及び調査書又は成績証明書の結果を総合して判定する。

- (1) 面接 (基礎学力に関する試問を含む)
- (2) 配点 面接及び志望理由書400点、調査書100点の合計500点とする。
- (3) 面接は複数の教員で受験者1人ずつ行う。面接時間は15分～20分程度。
- (4) 機械科学科の面接では、「数学」「機械工学の基礎」について試問する。

Ⅸ. 試験実施日時及び会場 (推薦・一般とも同一日)

月 日	時 間	試 験 内 容	試 験 会 場
令和8年8月21日 (金)	10時～17時(※)	面 接	理 工 学 部

(※)試験終了時刻は予定より早くなる場合があります。

受験上の注意

- ① 試験当日は、9時40分までに理工学部の指定された面接控室に入室してください。
- ② 受験の際には、「受験票」を必ず持参してください。

Ⅹ. 合格者の発表

合格者の受験番号を次のとおり発表するとともに、合格者に対し合格通知書等の書類を「あて名票」に記載された住所に郵送します。

電話等での可否に関する問い合わせには一切応じません。

発表日時	発表方法
令和8年9月3日 (木) 午前10時 (予定)	本学入試情報ホームページ (https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/) で発表

Ⅺ. 入学手続

1. 入学手続の方法

入学試験に合格した者は、郵送又は持参により、入学手続を行ってください。

期日に手続きを完了しない者は、入学を辞退したものととして取り扱います。

○郵送の場合 …… 令和8年9月28日 (月) から令和8年10月2日 (金) 午後5時までに到着するように、必要書類一式を「書留速達」で郵送してください。郵送先は学務部入試課になります。

○持参の場合 …… 令和8年9月28日 (月) から令和8年10月2日 (金) の平日午前9時から午後5時までに、必要書類一式を学務部入試課まで持参してください。

2. 入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。

詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

I. 合格通知書	合格発表時に送付します。
II. 誓 約 ・ 保 証 書	合格通知の際に、本学所定用紙を送付します。 2人分の印鑑 (本人と保証人の分) が必要になります。
III. 入 学 料 282,000円	合格通知の際に、本学所定の振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。

※授業料は、年額535,800円 (前期分267,900円 後期分267,900円) になります。納付期限は、前期分5月31日、後期分10月31日となりますが、希望により入学料と併せて前期分又は年額 (前期分+後期分) を前納することができます。

※入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

XII. 入学者案内

1. 高等教育の修学支援新制度について

弘前大学は、令和元年9月20日に「高等教育の修学支援新制度の支援対象機関」として文部科学大臣より認定されました。「高等教育の修学支援新制度」とは、令和2年度以降、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、学部学生を対象とした「入学料・授業料の減免及び日本学生支援機構による給付型奨学金の支給」による支援です。

本学合格者の方へ『入学料及び授業料の減免について』（又は『経済支援の手引き』）を配付しますので、申請を希望する区分の手続きを参照して、入学料及び前期授業料減免の申請手続きをしてください。

2. 日本学生支援機構奨学金（貸与）※卒業後に返還が必要

学業・人物ともに優秀であって、経済的理由によって修学が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が貸与されます。

3. 学生教育研究災害傷害保険（学研災）と学研災付帯賠償責任保険（学研賠）

本学では、学生の正課による実習や大学の行事による災害補償のため、保障制度への加入を推奨しています。

大学生活では、本人のケガや病気の他、第三者から損害賠償を求められる場面も少なからず想定されます。皆さんの安全で充実した大学生活を守るためにも、加入をお願いします。

本件担当

弘前大学学務部学生課生活支援グループ（経済支援担当）

弘前大学ホームページ（学生生活）

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife>



【お問合せフォーム】

<https://forms.office.com/r/icGy7LavBk>



4. 学生寮入寮希望調書等の請求方法及び受付期間

令和9年1月下旬～2月頃に本学ホームページに「入寮案内」が掲載されますので、必要書類や受付期間などはそちらをご確認ください。

もしご覧になれない場合は、次の問合せ先までご連絡をお願いします。

○ホームページURL

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/consultation/gakuryo/>

○問合せ先

弘前大学学務部学生課 学生支援グループ

電話：0172-39-3107 FAX：0172-39-3119

XIII. その他の注意事項

- (1) 出願書類の不備なものは受理いたしませんので、記載事項に記入もれ、誤記等のないよう十分注意してください。
- (2) 出願書類提出後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。

XIV. 個人情報の取扱いについて

(1) 利用目的

志願者から提出された個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用します。

- ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③その他、教育・研究に関すること。

上記の利用目的に係る個人情報の取扱い業務の全部又は一部を外部に委託する場合があります。

(2) EU一般データ保護規則（GDPR）の適用に係る手続きについて

欧州経済領域（EEA）に在住する者は、EU一般データ保護規則（General Data Protection Regulation (GDPR)）の適用を受けるため、別に手続きが必要となるので、事前に次の連絡先に連絡してください。

弘前大学学務部入試課 電 話：0172-39-3122 FAX：0172-39-3125 メール：nyushi@hirosaki-u.ac.jp
--

XV. 入学後の単位認定

入学後は出身校で取得した単位を本学理工学部の履修科目の単位に読み替えを行います。各学科における読み替えの方針は次のようになっています。

1. 読み替え単位認定

編入学者が修得した科目単位のうち、本学部における教養教育科目及び専門教育科目の単位とみなし得るもの（以下「既修得単位」という）については、調査書又は成績証明書及び受講科目の概要（シラバス）に基づき、本学部教授会が単位の認定を行います。

2. 単位認定等の基本的な考え方

(1) 既修得単位の認定は、入学後において編入学者からの申請に基づき行います。

なお、教養教育科目単位については、修得すべき単位数から、第3年次に履修する必修科目を除いた単位数を一括認定します。ただし、教員免許状の取得を希望する場合には、一部科目を除外して認定します。

(2) 編入学後、最短2年で卒業可能となるよう考慮します。

しかし、認定単位数が少ない場合や、教員免許状の取得を希望する場合は、この限りではありません。

(3) 単位数の換算について

①短期大学卒業者及び高等専門学校卒業者の編入学者に対しては、1単位当たりの履修時間数が同じことから、単位数の換算は行いません。

②専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者については、1単位当たりの履修時間数を考慮して単位数の換算を行います。

③高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者については、1単位当たりの履修時間数を考慮して単位数の換算を行います。

④分割複数科目（あるいはその逆）の単位数は、講義内容等を加味した上で、適切な単位数として認定することができます。

⑤特に当該学科の第3年次からの教育研究内容と異なる分野からの編入学者に対しては、単位認定に考慮を加えても、一般学生に比較して、なお水準が低い場合には、補完教育を実施する場合があります。

(4) 専門教育科目について、他学科の科目を自学科の卒業所要単位に含める科目として認定しようとする場合は、当該学科間で協議します。

3. 修業年限及び在学年限

(1) 修業年限は2年です。

(2) 在学年限は4年です。

4. 規定の適用

編入学年度において、第3年次学生用の規定を準用します。

5. 評価基準

複数の科目をもって一つの科目の認定をする場合、〔秀・優・良・可〕の評価基準は次のように統一します。

○ 認定前の複数の科目が、全て同一評価の場合、その評価そのもので評価します。

○ 認定前の複数の科目の評価が分かれている場合、相対的に良い評価を用いて認定します。

XI. 理工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1) 理工学部が求める学生像

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養うカリキュラムを提供することによって、自然の仕組みを探究する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 専門教育の基礎となる理数系の学力、および社会の中で専門的能力を活かすための基礎学力
- 高等学校までに学習すべき課題に真摯に取り組むとともに、自らの個性や資質に合わせてその他の活動にも積極的に参加し、自らを成長させていく行動力
- 専門を生かして新たな課題を見だし、解決するために学び続ける意欲

また、理工学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【数物科学科】

（数車型）

- 数理科学への強い興味を持ち、数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 探究心が旺盛で豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって社会に貢献する意欲のある人

（物理型）

- 自然の基本原理に興味を持ち、物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 物質を構成しその性質を決定している量子の世界から広大な宇宙の世界までを支配している自然の基本原理を理解し、より深く探求することやその成果を社会へ還元することに意欲のある人

【物質創成化学科】

- 化学物質の構造や化学反応のしくみを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち、化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 自ら課題を見だし、暮らしを豊かにする機能性物質や環境調和を指向した機能性材料を創成し、リサイクル、省資源、エネルギー創成技術等に関する諸課題を解決するための研究開発に意欲のある人

【地球環境防災学科】

- 宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人
- 自ら課題を見だし、地球に関する科学の深化や、地球環境問題の解決、自然災害の防止に貢献することに意欲のある人

【電子情報工学科】

- 電子回路、電子材料、コンピュータとソフトウェア、通信ネットワーク、セキュリティ、組込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 電子情報工学の発展に強い関心を持ち、学んだことの成果を社会の様々な分野で活用することに意欲のある人

【機械科学科】

- 医用・福祉、環境・エネルギー、航空宇宙、輸送機械、ロボット、AI、ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ものづくりに関する科学技術の発展に強い関心を持ち、失敗を恐れず継続してものごとに取り組む、学んだことの成果を社会の様々な領域で活用することに意欲のある人

【自然エネルギー学科】

- 自然や人間社会に深い興味を持ち、自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 地域に存在する自然エネルギー源を利用することや、その活用に意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 理工学分野の学問を学ぶために必要な力として、論理的思考力、自然科学に関する基礎知識、表現やコミュニケーションの能力を身に付けておくことが必要です。
- 自ら課題を探究し、主体的に取り組む学習態度、新しい発見や創造的な活動に取り組むための行動力が必要です。また、他者と協働して学習や研究などに取り組むことができる行動力や学習態度が必要です。
- 困難な課題に対しても安易にあきらめることなく取り組み、やり遂げようとする意欲を持ち続けることが必要です。また、自然界の仕組みや社会を支える技術について日頃から興味を持ち、学習に自発的に取り組む態度が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

理工学部では、前記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により、別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

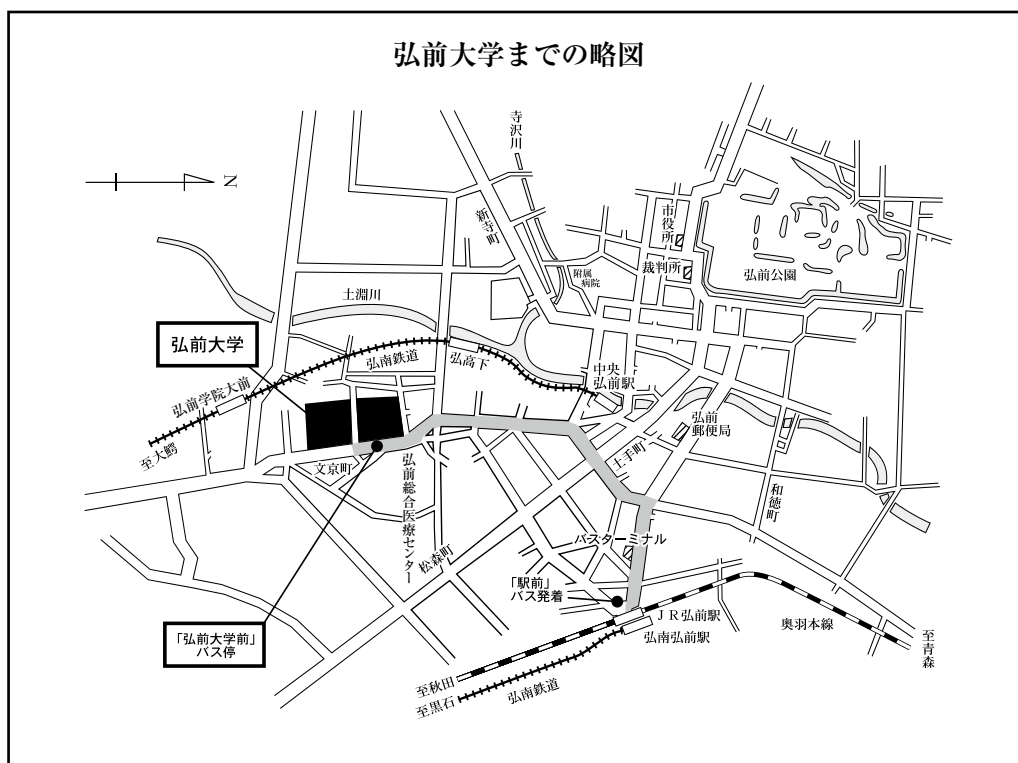
選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
総合型選抜Ⅰ	講義の実施とその内容に関するレポート	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
編入学入試 (第3年次) 推薦	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。 なお、個人面接においては、基礎学力に関する試問を含みません。	○	○	○
	調査書				
	志望理由書				
	推薦書				
編入学入試 (第3年次) 一般	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	調査書又は成績証明書				
	志望理由書				

注) 総合型選抜Ⅰの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
講義の実施とその内容に関するレポート	総合Ⅰ	学部において実施する講義に、能動的に対応するために必要な「学力」及び「行動力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	志望動機、入学後の履修計画、卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により、「意欲」及び「行動力」を評価します。 また、総合型選抜Ⅰ及び編入学入試一般では、基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。
	編入学	なお、編入学入試推薦においては、基礎学力に関する試問を含みません。
調査書又は成績証明書	編入学	これまでの学習に対する取組状況から、「行動力」の評価を行います。 また、3年次以降の履修に対応する「学力」についても評価します。
志望理由書	編入学	志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から、「意欲」に関する評価を行います。
推薦書	編入学	これまでの学習に対する取組や学習意欲に関する客観評価から、「意欲」及び「行動力」の評価を行います。

試験場のご案内



- ① 弘前駅から理工学部まで（徒歩25分）
- ② 弘前駅前バス停より、弘南バスを利用。（学園町行・小栗山行・狼森行のいずれかを利用し、弘前大学前下車。）
- ③ タクシーを利用。（駅前より約10分）
- ④ 自家用車で来学は固くお断りします。

試験場（理工学部校舎）等の略図

